

BI YO RI

やましる日和

～宇治茶のある暮らし～

第3号
2024年3月



宇治茶のミライ 協議会の2つの柱

無料
Take Free

宇治茶がつなぐ地域の絆

井手町に新しい地域交流拠点誕生！テオテラスいで

ごあいさつ	2
もくじ	3
宇治茶のミライ 協議会の2つの柱	4
宇治茶がつなぐ地域の絆	6
テオテラスいで	6
小川武治茶舗	8
脇本常香園	10
宇治茶のある暮らし(協議会の活動紹介)	
イベント報告 JOYO産業まつり	12
FM放送 FM79.7京都三条ラジオカフェ	12
Youtube『京都宇治茶チャンネル』	13
ヒアリング調査にご協力ください	14
編集後記	15

も

く

じ



～井手町 玉川の桜 提供:井手町～
 「井手町さくらまつり」R6年 3/23(土)～4/3(水)開催予定
 お問い合わせ:「井手町さくらまつり実行委員会」☎0774-82-6168 井手町産業環境課

くわいせいの

京都府山城地域のみなさま、こんにちは！
 令和六年の春をいかがお過ごしでしょうか。

それにしましても、元日の夕刻に石川県能登地方を襲ったマグニチュード7を超える大地震（「令和六年能登半島地震」）の報道に、国民誰もが大きな衝撃を受けました。犠牲となられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された多くの皆様の安全と被災地の一日も早い復興を心より祈念し、お見舞い申し上げます。

あらためて「自然への畏怖の念と感謝の意」を表し、山城地域の穏やかな季節のなかで、本誌をお楽しみいただければ幸いです。

宇治茶ブランド拡大協議会

京都府産 宇治抹茶

抹茶濃

JA京都やましろの 京都府産抹茶100%

抹茶濃ブランドの情報・商品のお求めは…
<http://uji-cha.kyoto/makkoji/>

ほうじ茶ラテ・抹茶ラテ

宇治茶

協議会の二つの柱

平成二六年（二〇一六年）四月、茶業界が丸となって、宇治茶の競争力とブランド力向上を目指す活動のプラットフォームとして、「宇治茶ブランド拡大協議会」が誕生いたしました。

背景には気候変動の宇治茶への影響を検証するNPO京都・地球みらい機構と京都府茶協同組合の社会実験等があり、設立後の協議会の取組は次に掲げる二つの柱により構成されてきました。

- 宇治茶の生産力向上プロジェクト、
- 宇治茶にまつわる古い記憶を再現プロジェクト。

のミライ

〈生産力向上に係る取組〉の現在

協議会メンバーでもある京都府茶業研究所と連携しながら、近年の激しい気候変動が宇治茶に及ぼす要因を数値として把握し、課題・問題点を理解する目的で、気象観測装置を府内十四箇所設置。特に茶業界の未来を担う若手生産者を中心に、機器の使い方や利活用の在り方等を学ぶ勉強会やワークショップを実施してまいりました。

十年余りの活動を経て、①観測装置を自主的に管理運営しているところとしての地域と、②一定の成果と課題の検証結果を踏まえて区切りをつける準備をしている地域、に集約されるに至っています。

〈古い記憶の再現に係る取組〉の現在

宇治茶の主要生産地である山城地域において、「宇治茶は京都・日本を代表する大切な地域資源」という認識と理解は広く浸透しています。しかしながら残念なことに、世代交代などによって、現存する宇治茶にまつわる貴重な資料の多くは行き場がなく、活用されずに埋もれたままです。一方、静岡や鹿児島等の国内の他の茶生産地では、地域のお茶にまつわる様々な資料や道具類等を一括保管し、一般に公開する資料館やミュージアムが存在しています。

このような状況を危惧する宇治茶ブランド拡大協議会のメンバーに加えて、京都府民、特に山城地域の皆さんの中から、「巷では〈宇治茶ブーム〉と言われて久しいが、実際のところ、〈宇治茶の歴史・特徴等も含めた総合的な情報を得る場〉がない」という声が寄せられるようになりしました。

結果、まずは京都府茶業会議所と京都府茶協同組合が所蔵する資料や道具類のデータベース化・映像化、宇治市歴史資料館に残されていた茶摘み歌等のデジタル化等に着手。続いて、協議会の活動を広く一般の皆様を紹介する〈情報発信拠点〉の雛型創りを立ち上げました。結果を踏まえて、現在、空間整備の方針を検証している段階にあります。



↑空間整備と活用の一例(令和3年 京都府茶業センター)



↑古い看板や、広告入りのマッチ箱



↑明治・大正時代の茶販売のカタログ。玉露だけで10ランクあることがわかる。



↑「ぼて」や「み」といった宇治茶の生産に欠かせない古い農具。



↑一番人気の「井手黄金プリン」と抹茶ソフトクリーム。
↓2月から抹茶味の「めっ茶プリン」も発売!



↓物販コーナーでは、お茶や抹茶スイーツの他にも
地元のお野菜や京都府の名産品を販売しています。



↑(男性左から)井手町職員の八木達也さん、(株)まちづくり井手の中谷英輔さん、(中央)西島誉晃さん、と女性スタッフの皆様。

テオテラスいで

〒610-0302
京都府綴喜郡井手町大字井手小字東高月8番地
TEL: 0774-82-5600 FAX: 0774-82-5601
カフェ 9:00~17:30/直販所 9:00~18:00
休業日 毎週月曜日、年末年始
月曜日が祝日の場合は営業、翌火曜日を休業
P有り
JR玉水駅より 徒歩約12分 車で4分

この「テオテラスいで」を運営する「株式会社まちづくり井手」の代表取締役の中谷英輔さんは、井手町の商工会の会長も務めておられます。井手町の発展、「テオテラスいで」の賑わいを願い、「目玉商品となるものを!」と思いつき、中谷社長らが、自らプリン作りに取り組まれています。

受け継いだレシピ通りに作るだけでは思うような味にならなかつたそう、原材料の選定から工程の試行錯誤を重ね、やっとできた濃厚でなめらかなプリンは、井手町の黄金の鶏伝説にちなんで「井手黄金プリン」と名付けられ、見事、



井手町の「黄金の鶏伝説」については、テオテラスいででのHPをご確認ください! ↓



(取材協力:井手町)



井手町に新しい
地域振興交流拠点誕生!

テオテラスいで

宇治茶がつなぐ 地域の絆

京都府南部山城地域の真ん中に位置する井手町は、古くから宇治茶の産地であり、昔は多くの茶問屋などがありました。その井手町に、令和5年9月、地域振興交流拠点として、「テオテラスいで」がオープンしました。

「テオテラス」という名前は、公募で寄せられた424点の中から選ばれ、SNSで発信される際に「#」を付けると「#テオテラス」が「井手を照らす」とも読めることがポイントで、これらの井手町の発展を予感させてくれます。

井手町の新庁舎や町立の図書館と併せて建てられており、国道24号バイパスの開通に伴わない道の駅としての施設も整備される予定です。新名神高速道路路城陽スマートインターチェンジと接続すれば、町外からもたくさんの方が訪れ、周辺の観光スポットも賑わうことが期待されています。



います。

現在、井手町内

は65歳以上を対象とした登録制の

「DECA(イデカ)」を利用すれば、百円で移動できる取り組みなども行われており、充分な台数の駐車場も備えている上に、JR玉水駅からも徒歩圏内という好立地にあります。定期的に開催されるマルシェや季節のテーマに合わせた展示なども企画され、地域の交流拠点として、認知されつつあります。

井手町生まれ井手町育ち、令和5年8月に町長に就任した西島寛道です。豊かな自然を守りながら、利便性と快適性が共存するまちづくりを目指しています。『テオテラスいで』が町内のみならず町外からの来訪者で賑わい、観光促進や賑わい創出の拠点になることを期待しています。皆さん、是非井手町にお越しください!



宇治茶がつなぐ地域の絆

地域のお茶屋さんを訪ねて 小川武治茶舗

おがわ たけじ ちゃほ

「テオテラスいで」の宇治茶販売コーナーに、小川武治茶舗さんのお茶が並んでいました。井手町ゆかりのお茶屋さんということで、早速、玉水駅の南にある「小川武治茶舗」さんの小川親子を訪ねてみました。

「よろしくお願ひいたします。先ず、豊武さんで何代目にあたるのでしょうか。」

（豊武さん）僕で三代目にあたります。本格的に始めたのは、父親「武治」の代からなんです。祖父は、製茶、加工をやっていました。まだJAの茶市場ができる前は、加工前の荒茶の見本で売りに回る茶商業者からお茶を買ったり、和束まで自分で足を運んだりもしながら買い付けていました。現在は、卸、小売通販をやっています。



3代目 小川豊武(とよむ)さん
平成7年京都府茶審査技術競技大会
個人の部優勝。休日は東山高校OBと
して野球を楽しんでおられます。

通販は、能登にもお客さんがいるんですけど、今年はやっぱ地震があつて、さっぱりです。それが穴水町の方からこの前一件だけ注文が入りましたね。家も十五度くらい傾いておられるような状況とか。（豊武さん）そんな大変な状況の中で注文いただけるのは、本当に有難いです。

「三代目と四代目で茶市場へ買い付けに

ほうじ茶のティーバックが「ふるさと納税」の返礼品になっていて、それがとても好評です。

「これからどんなお茶屋さんになりたいと思っと思っていますか？」

（豊武）もつと若い方々にもお茶を飲んでもらいたいです。お茶を飲むことのハードルを下げて飲みやすくして…。

青年団の活動で小学校でお茶を飲んでもらう教室をすることもあります。子どもたちを見ていて、へ家に茶葉や急須があればもつと宇治茶を楽しんでくれるだろうなあと感じます。一方で、食べ物ではなく、飲みみもので「美味しい」と感じてもらふことの難しさも感じます。

「四代目に期待することは？」

（豊武）僕の時より良くなって欲しいね（笑）。

（洋武）「大会で結果を残せ」とよく言われていますが、緊張するんですよ、あの会場の空気が…。でも、頑張ります。是非、親子二代大会制覇を目指して下さい。今日はありがとうございます。」

来ているのを見たことがあります。買いたいお茶の好み分けられることはありますか。

（豊武）多少はありますね。僕は、わりと火の効いた焙煎の香りがしっかりしたお茶が好きです。

（洋武）好みが変わるのでね（笑）。僕は火はしっかり入っているけど、もう少しお茶本来の感じが残っている方が好きです。

（豊武）どうしても自分の好みで、競り落としたいお茶があるときは、相場より高くても落とします。「色」や「香り」など色々ありますが、やはり、「味」を第一にお茶をみます。売り場については、今の段階では意見が分かれても、まだ僕の好みで行っています。

「たしか小川（豊武）さんは、お茶の審査技術競技大会で優勝されていますよね。」

（豊武）はい、城陽茶業青年団に入っていた時に京都府の大会で優勝しました。

「城陽茶業青年団は、小川さん（豊武）の年代を中心に立ち上げられた茶業青年団ですよ。」



小川武治茶舗

〒610-0302
京都府綴喜郡井手町
井手柏原71
☎ 0120-29-8808
Fax. 0774-82-5750
営業時間：9:00～18:00
定休日：日曜日・祝日
お盆 年末年始
不定休あり



4代目 小川洋武(ひろむ)さん
城陽茶業青年団に所属。
「青年団には同じ年のメンバーもいて
心強いです。」



←営業日等はこちらのInstagramで確認できます。
↓ふるさと納税の返礼品として好評の「雁ヶ音ほうじ茶」
も、店頭や通信販売で購入可能です。
FAXや電話でご注文ください。御予算に応じた詰め合わせにも対応いたします。



兄弟で力を合わせて

脇本常香園

わきもとじょうこうえん

京都府茶協同組合に所属する組合員として井手町にある二つのお茶屋さんのうち、もうひとつは、脇本常香園さんです。令和四年に林直紀さんが四代目に就任し、現在は、弟の凌太郎さんと二人三脚で家業を守っておられます。若くして継承された経緯などをお伺いしました。

「本日はよろしくお願いたします。若くして、四代目になられた直紀さん、その経緯を教えてくださいませんか？」

（直紀さん）お願いいたします。二〇二二年に三代目である父親の病気が発覚したんです。それまで家で仕事の話を聞いたことがありませんでしたし、僕はまったく異業種の会社に勤めていました。病気の話を聞いたときは、見た目が元気だったこともあ

り、実感が沸きませんでした。ただ、なんとなく幼少期からいずれは継ぐという覚悟は有ったので、知らせを受けて迷わずにこの世界に入りました。その時は玉露と煎茶の区別もつかなかったような状態です。初めは、仕入れについて行つて、ただ値段を記入するところから初めました。

「弟の凌太郎さんも別の業界に？」

（凌太郎さん）はい。僕はハウスメーカーに勤めていました。

「今は、お一人で？」

（直紀）そうです。二年目からは二人で仕入れに行っています。父が亡くなった後も、親しかった周りの方に随分助けていただいています。「この値段で買ってはダメ（高すぎる）」とか。そういうこと、お茶を買う競争相手である同業者間で教え合うことなん



専務取締役 林 凌太郎さん お2人の祖母の 脇本 敏子さん 代表取締役 林 直紀さん

てまず考えられません。これも父の残してくれた大切な人間関係だと思ひ、とても助かっています。

「兄弟喧嘩とかは無いですか？」

（直紀・凌太郎）したことないですね。直紀さんのお茶と凌太郎さんのお茶、どちらのお茶を使うか、意見が分かれた時にはどうされているのですか？」

（凌太郎）そういう時は、私たちの名前を伙に肌で感じていますが、若い人にも手に取ってもらえるような魅力的な商品を作りたいです。

「兄弟の仲の良さが、そのまま社風に出ているような、そんな温かみを感じました。今日は、お忙しいところありがとうございます。」

※1茶筋(ちやすじ) Ⅱ売り場に適しているお茶が持つている特徴のこと。



古い写真はいくつか残っているものの、家業にまつわる資料は多くなく、創業～2代目のお話は、おばあさまである脇本敏子さんが教えてくださいました。創業者の脇本徳次さんは、共栄製茶さんで修行し、事業を興こしました。2代目の脇本茂社長は、当時勤めに出て安定した生活を送っていたこともあり、2代目となる事に周りからの反対意見もあったとか。それでも、事業を軌道に乗せ、業種を問わずたくさんの方が茂さんを頼って相談に訪れていた事を覚えているそうです。

せて、従業員に意見を聞いてみます。工場長や社内内の先輩をはじめ、うちの会社には鑑定技術のある社員が多いので、その意見を聞いてお互いに納得するという感じになります。

「先代のお父様の人徳や、従業員の方にもにも助けられながら、兄弟で力を合わせて家業を継がれていることがわかります。どのようなお茶屋さんを目指しておられますか？」

（直紀）ティーバックが良く出回っています。急須のほうがやはりおいしいですし、それを伝えていきたいです。茶筋(※1)に応じて、お客様の顔を思い浮かべながら、好みに合わせて色をみたり、火入れをして仕上げられるようにと思っています。言われたことを覚えて、量と納期のリクエストにも応えられるように、と思いますね。

（凌太郎）この業界に入ってからお茶を飲むことが好きになりました。でも現実的に、プライベートで急須でお茶を淹れて飲む時間を作ることが難しいのも実感しています。消費量の減少を、数値で見るとよりも明らか



脇本常香園
〒610-0301 京都府綴喜郡井手町多賀北口5-5
Tel. 0774-82-3102 Fax. 0774-82-3150
Mail. office@kaneiku.com
<https://www.wakimotojokoenu.com/>



Youtube **京都宇治茶チャンネル**
気軽に宇治茶の資料にアクセスできます

京都宇治茶チャンネル



宇治茶ブランド拡大協議会では、過去の古い資料を一般利用しやすくデジタル化する事業を進めています。
 令和五年度は、平成二十七年と二八年に制作したDVD二本を、京都府茶業会議所運営の「京都宇治茶チャンネル」にて公開しました。
 是非、チャンネル登録をしてご活用ください!!

豊公献茶行列と御茶壺道中(平成27年度制作)



昭和11年10月に北野天満宮で催された大茶会「昭和北野大茶湯」の貴重な映像と、「宇治茶摘み図・献上茶図屏風」から昔のお茶づくり、お茶に携わる人々の仕事ぶり、献上までの様子を知ることができます。



製茶図に見る明治のお茶づくり(平成28年度制作)



この製茶図は、明治時代のお茶栽培・製茶の様子を4枚に分けて描かれています。
 種を蒔くところから荷造り出荷まで緻密に描かれ、当時のお茶づくりを知る貴重な資料となっています。



宇治茶のある暮らし

宇治茶ブランド拡大協議会は、イベントやFMラジオ放送等を通して「宇治茶のある暮らし」をテーマとした宇治茶を生活の中でたのしむための様々な提案を行っています。

イベント報告 ~ JOYO産業まつり ~ 令和5年11月3日(金・祝) 文化パルク城陽

宇治茶ブランド拡大協議会の消費者向けイベント「宇治茶のある暮らし」第四弾は、城陽茶業青年団の協力を得て、十一月三日に「城陽文化パルク」で行われた「JOYO産業まつり」に出展しました。
 「宇治茶合わせゲーム」をはじめとして、『やましろ日和』の配布や、協議会で作成したビデオの再生などを行いました。「宇治茶合わせ」では、老若男女たくさんの方にゲームに挑戦していただき、「お茶」といっても、色々な種類があり、色や葉の形で見分けがつくものもあれば、見分けが難しいものもあることを見て、感じて頂きました。
 当協議会は、今後も地域の皆様気軽に参加いただけるイベント等の出展を計画しています。『やましろ日和』のバックアンバーも在庫の限り用意して、山城エリアの皆様にご覧のを楽しみにしています。



▲「宇治茶合わせ」に挑戦!
 透明のケースに入った12個の茶葉を種類別の6つのペアにしていくゲームです。

FM放送 FM79.7 京都三条ラジオカフェ 地域の大切な財産・宝としての宇治茶を次世代へ!

令和6年1月~3月の第4金曜日 12:00~12:15 放送中!
 協議会の構成メンバーが、宇治茶について業界内部の話や宇治茶のこれからについて語ります!
 令和5年の1月~3月に放送された過去の放送分も、Youtubeで視聴可能です。



ヒアリング調査にご協力ください

宇治茶ブランド拡大協議会は、文化継承に資する活動の一環として、茶業界の皆様へのヒアリング調査をスタートしました。概要は、『やましろ日和』の次号以降で紹介させていただきます。

加えて、山城地域にお住まいの皆様へのお願いです。ご自宅に残る「宇治茶にまつわる古い絵葉書や写真、ビデオやカセット、各種印刷物」など、どんなものでも結構です。資料の提供あるいはヒアリング調査にご協力ください。

まずはメールでご連絡ください。(読取アプリによってはメールソフトが立ち上がらない場合がございます) ↓



先人たちが大切に守ってきた宇治茶の文化を次世代へとつなぐために、様々な古い写真や資料、カセットテープなどを、触れやすく、活用しやすくするために、デジタル化する事業を通して、宇治茶の文化の継承を目指しています。

←↑茶摘み歌やインタビューを録音したカセットテープをデジタル化したCD全10枚の資料(宇治市歴史資料館所蔵)



編集後記

令和六年の桜の開花は、例年より一週間ほど早いとの予報です。『やましろ日和』第三号が発行される頃には、府全域が優しいピンク色に染まり、桜の名所は府内外・国内外からのビジターで溢れていることでしょう。

創刊号の表紙には「うさぎ」を、第二号は「鳥獣戯画」を、テーマとして採用しました。今号の表紙は、同じ大きさの縁を四分の一ずつ組み合わせた「七宝文様」を選びました。人の縁・富と繁栄を意味する意匠として、古くから日本人に親しまれてきた吉祥文様です。

宇治茶業界が大切に受け継いできた「七つの宝」風土・技術・鑑定・革新・文化・歴史・伝統に呼応する「七宝文様」という思いを込めて、山城地域の皆様にお届けいたします。

「やましろ日和」編集部

宇治茶ブランド拡大協議会

会長：森下康弘
副会長：吉田利一
監事：原田和也

<編集部> 戸塚浩司
高木啓暢
モナト古閑久美子
花田幸

<制作> ㈱業態開発総合研究所

お問合せ ujicha@gfkyoto.jp

『やましろ日和』は、JA京都やましろ各支店、宇治茶カフェ認定の店舗等、山城エリアを中心に配布しています。本誌をご希望の方は、「氏名・郵便番号・住所・電話番号・メールアドレス(お持ちの場合)」を明記したメモと、180円分の切手を同封して、〒611-0021宇治市宇治折居25番 京都府茶協同組合内 宇治茶ブランド拡大協議会事務局「やましろ日和 送付希望係」までお送りください。スマートレターにて最新号を10冊お送りいたします。
※バックナンバーについては在庫がないものもございます。



発行 宇治茶ブランド拡大協議会
UJI-CHA BRANDING ASSOCIATION

構成団体 公益社団法人京都府茶業会議所，京都府茶生産協議会，京都府茶協同組合，
京都府農林水産技術センター農林センター茶業研究所，宇治市産業観光部農林茶業課，
全国農業協同組合連合会京都府本部農畜産部茶業市場課，
京都府山城北農業改良普及センター，京都府山城南農業改良普及センター，
JA京都やましろ，特定非営利活動法人京都・地球みらい機構

事務局 京都府茶協同組合 〒611-0021 京都府宇治市宇治折居25番
Tel: 0774-23-7711 ujicha@gfkyoto.jp

この冊子は「令和5年度京都府地域交響プロジェクト交付金」により制作されました。(2024年3月)